

2025 年度 第 2 回 教育課程連携協議会 議事要旨

- 開催日時：2025 年 3 月 18 日（火）15 時 00 分～15 時 55 分
- 場 所：オンラインビデオ会議システムによる
- 出席者：千住学部長、山内理学療法学科長、辛島作業療法学科長
種村言語聴覚療法学科長
滋賀県医師会 高橋会長（委任）、滋賀県理学療法士会 平岩会長
滋賀県作業療法士会 木岡会長、滋賀県言語聴覚士会 佐敷会長
東近江市地域包括支援センター 河島センター長
マキノ病院リハビリテーション科 杉原課長（委任）
市立長浜病院リハビリテーション技術科 西村主幹（委任）
滋賀県立リハビリテーションセンター 乙川主任主査
- 陪席者：角野学長、北川事務局長、落合センター長、岩崎センター長代理
丸山学生支援グループ長、岡田入試広報グループ長
- 欠 席：山本学長特別補佐

議事に先立って、角野学長より挨拶が行われた。

少子化や様々な要因で学生募集が非常に厳しい状況である。

しかしながら、インターネット記事であるが、魅力のある大学として県内トップとなった。また、先般、審査を受けた分野別認証評価では専門職大学としてすべての基準を満たしているとの評価を得た。

今後も優れた滋賀の医療人輩出のため、魅力のある大学づくりに邁進したいと思う。

そのために本会委員の皆様から貴重な御意見を賜りたいと思う。

1. 議 事

(1) 審議事項

① 教育課程について

各学科長よりそれぞれの教育課程の特色等について概要の説明が行われた。

乙川委員より)

現場のリハビリテーションスタッフからは地域生活者からの視点でのリハビリテーションのあり方や、予防について、また、集団を見ることが難しいとの意見が上が

っているが、そういったことに対応できるような授業や教育は実施されているのか

山内理学療法学科長より)

理学療法学科では1年時の見学実習Ⅰや4年時の理学療法地域実習において、地域リハの実態を把握できるようにしている。

また、学内の授業においても地域を学ぶ授業科目組み入れており、学外で地域に触れる機会を設けている。

辛島作業療法学科長より)

作業療法学科では作業療法総合臨床実習において地域を学ぶことを上位として位置付けている。

また、教員が地域の公共団体と連携し、様々なイベントや活動を実施しており、そこに学生を参加させることで地域と触れ合う機会を設けている。

種村言語聴覚療法学科長より)

国の方でもリハビリテーション職養成に係る実習先の拡大を検討している。そこで問題となるのが、医療機関等以外における実習指導者をどう確保するのが課題に上がっている。そういった問題を解決できればカリキュラムとして地域の様々な場で実習が行えることになると思う。

言語聴覚療法学科では老健など医療機関以外にも臨床実習先として視野に入れ、準備を進めているところである。

河島委員より)

基礎科目に「データサイエンス」という科目があるが、学生がどのような内容を学ぶ科目として設定しているのか教えて欲しい。

山内理学療法学科長より)

カリキュラム改正前から基礎科目に「統計学」を設けていたが、学生にデータの扱い方や基礎的知識を習得させ、スムーズに統計学を理解できるように当該科目を設定している。

辛島作業療法学科長より)

学生が「データサイエンス」や「統計学」で学んだ知識をもって、臨床実習等にお

いて実際に得られたデータを活用できる能力をもつために重要な科目だと考えている。

種村言語聴覚療法学科長より)

言語聴覚士という職業は様々な診断結果を数量化するのが難しいが、様々なデータを適正に取り扱うという基本的な知識を身に付けさせることは重要であると考えます。

(2) 報告事項

① 2024 年度 教育活動実施状況 報告

各学科長より今年度の教育活動状況について報告が行われた。

理学療法学科)

1 年生においては今年度から毎週、担任教員がホームルームを開催し勉強だけではなく、生活態度なども含め指導や助言を行っている。その結果、昨年度より成績や授業の出席状況が改善されている。

見学実習において一部、態度の悪い学生がいたとのことをお叱りを実習先の指導者からいただいたが、全体的に実習態度や実習結果は改善されている。

作業療法学科)

今年度、八日市キャンパスが稼働し、1 年生だけが離れたキャンパスで学生生活を送ることとなった。作業療法学科の教員が常駐しておらず、先輩学生との関わりも持てない状況で、少しでも学生生活のフォローになるよう、週に 1 度、担任教員が八日市キャンパスに赴き、何でも相談できる時間を設け、対応した。

また、八日市キャンパスに常駐している言語聴覚療法学科の教員からの協力もあり、学科を飛び越えて全学的に学生をフォローできる雰囲気づくりができています。

言語聴覚療法学科)

ホームルームはもちろんのこと、定期試験前には学生同士の自主勉強会を設け、学生間で切磋琢磨できる環境づくりを行っている。

② 国家試験受験及び就職状況について

理学療法学科長及び作業療法学科長より配布資料に基づき、国家試験自己採点結果及び就職内定状況について報告が行われた。

③ 2025 年度 入学見込者数について

岡田入試広報グループ長より配布資料に基づき、2025 年度入学予定者数の報告が行われた。

学生募集が苦戦している要因として、一般職の給与の値上がりを受け、全国的に医療系職種希望者が減少、総合大学が盛況で単科大学は減少傾向、経営学部などが人気。

滋賀県内においては主に製造業への就職が順調で、大学等への進学者が減少傾向にある。

④ 分野別認証評価 結果について

岩崎センター長代理より、今年度受審した分野別認証評価の結果について概要の説明が行われた。

(3) その他

木岡委員より)

地域社会共生に向けて多職種と連携して様々な活動を行っていくことが重要である
と考える。貴学においては学外での活動を積極的に実施されておられるが、滋賀県作業療法士会も協力していきたい。

平岩委員より)

学生募集が苦戦されておられるようだが、医療に携わる人材育成というのは地域
にとって非常に重要なことである。引き続き、様々な施策を実施していただき、学生
確保に努めていただきたい。

以上